

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
押しピンアート	中	つくる Ⅲグループ (美術)	永田真央

<ねらい>

- ・押しピンをコルクボードに刺す感覚を楽しむ。
- ・一人で押しピンを刺すことができる。
- ・押しピンの色を選択することができる。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

教師が印を書いた下絵（電車や果物など生徒が興味のある絵）を用意する。  
赤、青、白、黄の押しピンから好きな色を選び、下絵に刺す。

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- ・「ピンを刺す」という活動が分かりやすく、一人で取り組める生徒がほとんどであった。
- ・手の力が弱くても刺すことができた。
- ・刺す感覚がおもしろかったようで、次々とコルクボードに刺していた。
- ・表現の幅が狭かった。（色の選択のみだったので）
- ・色の選択肢を増やしたり、（印がなくてもできる生徒には）押しピンを刺すための印なくしたりすると、表現が広がると思いました。

<その他（材料、費用、購入先等）>

コルクボード、押しピン（ダイソー）

